

週間漁海況情報—第43号

平成22年11月8日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

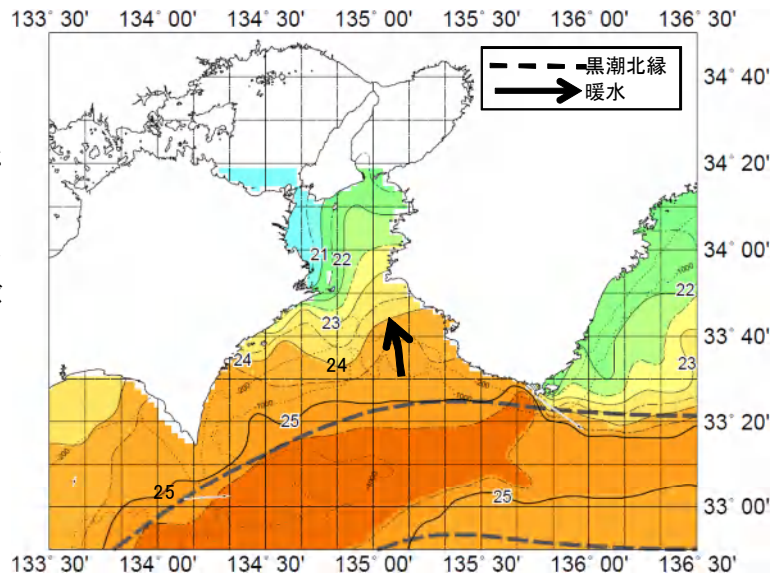
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.11.8）を示した。

黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖および足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、25℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で20℃台、紀伊水道で20～23℃台、海部沿岸で21～24℃台である。

土佐湾沖で黒潮が小さく蛇行している。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からゆるやかに暖水が流入している。海部沿岸上灘では、23℃以下の内海系水に覆われている。

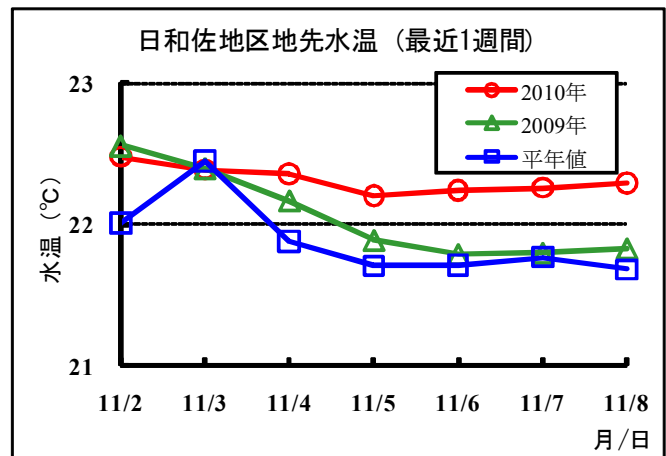
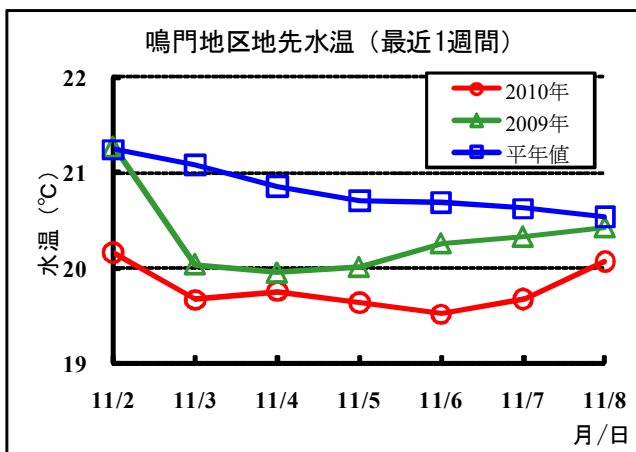
漁業調査船「とくしま」により11月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや高め」の21.5～21.8℃であった。



播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
11/2	今年値	21.5	21.5	21.6	21.8	32.1	32.1	32.2	32.3
	平年偏差	0.6	0.7	0.8	0.9	0.1	0.1	0.1	0.2
	前年偏差	-0.1	0.1	0.2	0.3	-0.3	-0.3	-0.2	-0.1

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」の19.5～20.2℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の22.2～22.5℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の21.8～23.2℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、カワハギが0.3トン(1日1隻当たり5kg)、大主体にサバフグが0.4トン(同7kg)、中・小主体にタチウオが0.4トン(同7kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.2トン(同3kg)、カマス類が0.9トン(同12kg)、中主体にタチウオが0.8トン(同10kg)、大主体にヒラソウダが1.2トン(同16kg)、小主体にマルアジが2.6トン(同35kg)、マルソウダが0.3トン(同4kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にアオリイカが0.2トン(同1kg)、特大主体にカツオが2.9トン(同9kg)、中・小主体にキハダが1.6トン(同5kg)、小小主体にシイラが0.4トン(同1kg)、小主体にタチウオが3.0トン(同9kg)、メジロが3.9トン(同12kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.6トン(同29kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが41.1トン(同437kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 11月01日～11月07日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	57	295	5	
		サバフグ	57	383	7	大主体
		タチウオ	57	391	7	中・小主体
小型定置網		アオリイカ	75	213	3	
		カマス類	75	919	12	
		タチウオ	75	770	10	中主体
		ヒラソウダ	75	1,225	16	大主体
		マルアジ	75	2,604	35	小主体
		マルソウダ	75	300	4	
		釣り	アオリイカ	325	215	1
カツオ	325		2,909	9	特大主体	
キハダ	325		1,564	5	中・小主体	
シイラ	325		419	1	小小主体	
タチウオ	325		3,011	9	小主体	
メジロ	325		3,865	12		
パッチ網	紀伊水道		サワラ	22	636	29
		シラス	94	41,100	437	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「接岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」の19～20℃台、日和佐地先は「平年並み」の21～22℃台前半で推移する見込み。

他県情報：宮崎県のパッチ網でシラスが22.7トン(1日1隻(統)当たり2.5トン)水揚げされた。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の11月16日～22日には、海部沿岸の大型定置網で小主体にタチウオ1.1トン、ヒラソウダ1.3トン、釣りでメジロ32.2トン、紀伊水道の釣りでサワラ1.1トン、中主体にタチウオ1.1トンが漁獲されていた。